

第3回アカデミア向けレジストリ勉強会

(2023/9/11開催)

—アンケート集計結果—

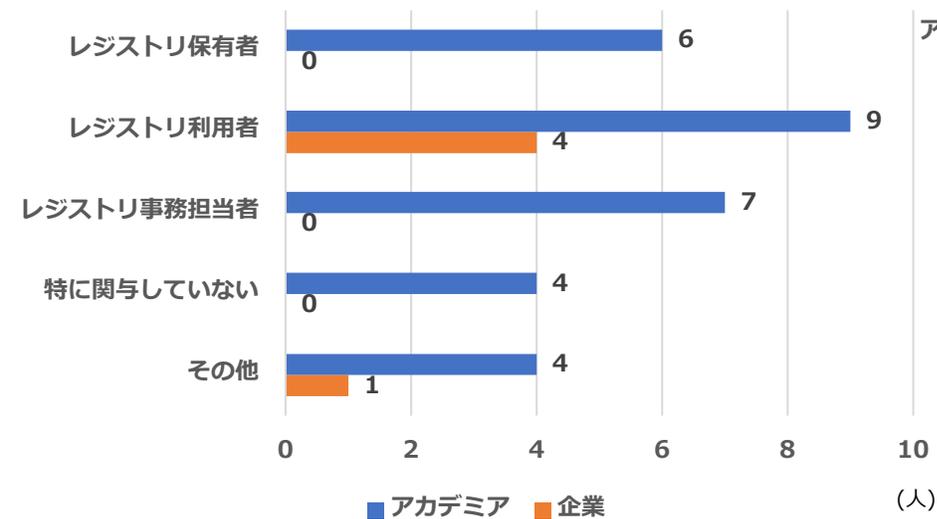
◆ 参加者内訳

- ・参加申込者数：91名（アカデミア 82名・企業 9名）
- ・当日視聴者数：60名（アカデミア 53名・企業 7名）
- ・アンケート回答数：31名（アカデミア 26名・企業 5名）
- ・アンケート回答率：34.1%（31/91）

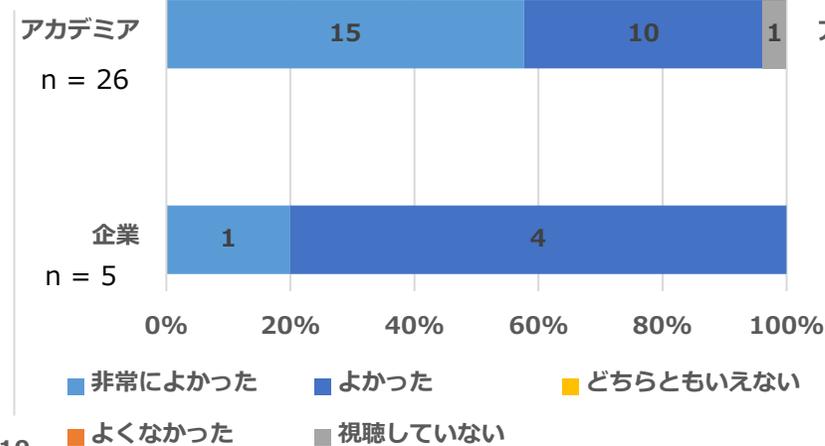
◆ アンケート集計結果概要

<参加者のレジストリとの関わり>

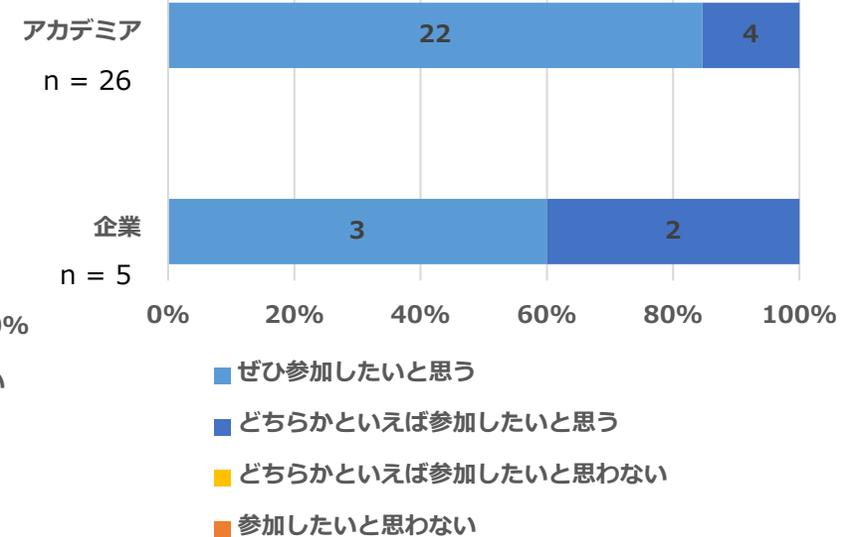
n = 31（複数回答可）



<勉強会全体の満足度>

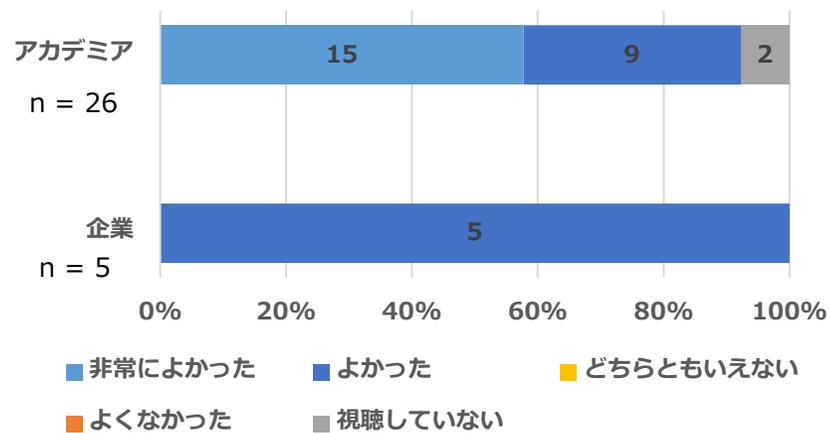


<次回参加したいか>

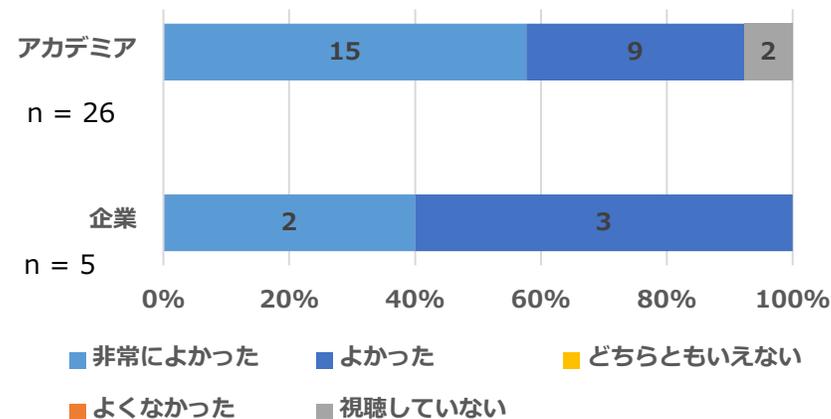


◆ 各講演の満足度

<オレンジレジストリ>



<コビレジ>



◆ 参加者からのコメント (一部抜粋)

< オレンジ
レジストリ>

- ・ 治験との関連が、研究を超えて研究開発につながるということが理解できました。またそれを持続させるためのコスト意識、企業との連携も勉強になりました。
- ・ 治験のリクルートに向けての工夫・実績が他にも参考になる良い事例だと思いました。やはり運営資金がレジストリ継続性の課題である事を再認識しました。企業が興味を持つレジストリを保つには資金が必要となるため、産官学で検討すべき大きな課題だと思いました。

<コビレジ>

- ・ レジストリ構築にあたる苦労や問題点が具体的に理解出来ました。
- ・ 企業利活用に向けた同意取得を手間はかかりますが最初に実施すべきと強く感じました。そのうえで、運営後の治験参加を促す仕組みは大変興味深く拝聴しました。
- ・ 研究提案の重複に関する質疑応答が具体的でとても勉強になりました。

<全体>

- ・ 自分自身がレジストリ保有者として管理運営する立場にあるので、同じように構築する先生方の経験や考え方を知るいい機会でした。
- ・ RWDの利活用事例を確認する意味では参加したいと思っています。一方、対象領域が自社製品とマッチしていないと、RWDの利活用の検討には至らない点が難しいと思います。